

## 第7回 松本市四賀地域公共交通協議会の開催結果について

### 1 日時

平成22年3月25日(木)  
14時30分～15時35分

### 2 場所

松本市役所四賀支所 大会議室

### 3 出席者

松本市四賀支所長 百瀬会長、四賀地域審議会 佐藤副会長、長野国道出張所 近藤委員、松本電鉄 惣洞委員、タクシー協議会 伊藤委員、松本市社会福祉協議会 山岸委員、松本市政策部長 中澤委員 (代理寺沢)、松本市建設部長 丸山委員 (代理丸山)、松本市市民環境部長 江平委員 (代理牧垣)、四賀地区町会連合会 望月委員、四賀地区町会連合会 塩原委員、四賀地区町会連合会 平松委員、民生児童委員協議会 木下委員、民生児童委員協議会 竹内委員、民生児童委員協議会 岩淵委員、行政相談員 草田委員、松本警察署 西澤委員、松本地方事務所 竹淵委員 (代理中村) 長野運輸支局 千村委員

### 4 会議事項

- (1) 第6回協議会の開催結果について (原案どおり承認)
- (2) 国庫事業に係る事後評価の二次評価の報告について (原案どおり承認)
- (3) 松本市四賀地域公共交通総合連携計画及び松本市四賀地域公共交通活性化・再生総合事業計画について (原案どおり承認)
- (4) その他

### 5 会議で出された主な意見

項 目	意 見 等
松本市四賀地域公共交通総合連携計画及び松本市四賀地域公共交通活性化・再生総合事業計画について	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 安曇野市との連携について ⇒ 安曇野市の地域公共交通会議があり、松本市として連携計画に明科、安曇野市の部分が含まれているので、連携計画として了解を得たうえで、連携計画自体は松本市長と安曇野市長の連名で国の方に提出する。それに向けた事前の調整はしている。</li> <li>○ 交通事業者の立場として、パークアンドライド駐車場や待合所の整備は良い話。今年は計画のみで実施は来年度か。もっとテンポ早くやった方が良いのでは。 ⇒ 連携計画中にもあるが、四賀支所の周辺がパークアンドライド駐車場の適地ではないかと考えている。実現できるものは早く着手できるように考えている。 今年の予算40億円と昨年よりもかなり縮小されている。今後、補助申請等を進めていきたいが、事業の内容を見直さざるを得ないという状況も想定される。</li> <li>○ 四賀地域から松本市街地への移動手段の確保について、四賀線を残していく</li> </ul>

ために。事業者として運賃の問題がある。現行の運賃が高いという批判があるがいくらなら乗るのか。

これ以上利用人員を落としてはいけないので、運賃をどうするか来年度の事業計画の中で考えている。色々なことを具体的に決めていかないと、日が経つにつれ利用者が減り悪循環に陥り結果無くなってしまうことのないようにしなければいけない。その辺の工夫が必要。

⇒ 試験的に取り組む価値があれば、四賀線だけではなく運行経路の長い路線の山形線など検討して、実施に向けていきたいと考えている。

今後は具体的な議論、話し合いの場にこの協議会ができれば良い。

○ ある程度テーマが絞られるものについては分科会等の設置が必要ではないか。

⇒ 地域が必要であれば、設けて協議できる。

西部地域9地区で科会が設けられることになっているが、設けていない。

西部地区は任意に9地区の支所、出張所と地域選出の委員を集めて、協議会でかける案件を事前に話し合う場を設けている。分科会という位置付けではない。地域が話し合う場をということであれば対応していきたい。分科会の必要性の有無を含め今後議論してほしい。

○ 事業者の採算が合わない穴埋めを、市営バスを何本か入れて、どのような結果が出るか把握するのも1つの手ではないか。

⇒ 化石館から旧松本市へ行ったら、旧松本市から高速で来て地区内へつながるようにできるだけやっているが限度がある。

住民、行政が何をしていくかを話し合わなければ、可能性ということだけでただ増やすのは難しい。今走っている市営バス、会田線、四賀線を大切に残すためにどうするのか平行して考えていく会にしてもらうために協力をお願いしたい。